

利用者のニーズに基づく補装具費支給制度の改善策に関する調査研究 5. 補装具費支給制度の価格に関する課題抽出

研究分担者 我澤 賢之 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
障害福祉研究部 研究員

研究分担者 山崎 伸也 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
義肢装具技術研究部 主任義肢装具士

研究要旨

義肢・装具・座位保持装置製作事業者を対象に、製作費用、収支などについての調査を行った。現時点の集計結果は、製作費用が増加していることを示唆している。

調査の結果推定された素材価格の前回調査時点（2009年）からの変化率は2.65%であった。また人件費単価の推定値は1,901円/時で前回調査からの変化率は1.50%であった。これらの数値の上昇の幅は、それぞれ日本経済における国内企業間取引される財の物価の動向、製造業全体の人件費単価と比較して大差ないと考えられる。一方、人件費にかかる正味作業時間の調査結果は、現行制度で想定されている水準に較べ平均して2倍程度となっており、両者の間に大きい隔たりが見られた。この点、慎重な吟味と今後の更なる調査が必要と考えられる。制度についての意見の調査結果からは、採算の厳しさが伺え、現行の義肢等価格設定の水準や移動コストの扱い等について意見が挙げられていた。

A. 研究目的

義肢・装具・座位保持装置（以下、義肢等）などの補装具はその利用者にとって欠かすことのできない用具であり、それらの安定的な供給は利用者の自立や社会参加を支える上できわめて重要である。これらの補装具の障害者自立支援法に基づく補装具費の支給に関しては、価格（支給基準）が定められており、事業者は自由に価格設定することができない。現行制度の枠組みを前提とするならば、義肢等を事業者が持続的に供給しそして利用者が安心して使い続けられるようにするためには、製作事業の採算を考慮した価格設定がなされる必要があると考えられる。その一方で、昨今の厳しい財政状況の中で補装具もまた公費によりその費用の一部がまかなわれている点から、その価格が根拠ある妥当なものであることを税負担者である国民に示していくことが今後ますます重要になってくると考えられる。

これらの点について明らかにし、利用者が今後

も安心して義肢等を利用できるようにしていくために、適切な価格設定を行うための根拠を提供するため、事業者を対象に製作費用にかかる調査を実施した。

B. 研究方法

義肢等製作事業者を対象として、平成23年12月に調査票調査を実施した。義肢等の価格は、昭和53年度の飯田等の調査研究（[1]）をベースとして定められている。そこでは義肢等を現在の制度でいうところの (a) 基本価格部分、(b) 製作要素部分、(c) モジュール部品（完成用部品）を使用した部分とに分けてそれぞれの製作費用の推定を行っている。(a)、(b)については、製作費用を、素材費と人件費、その付随費用とに分けて整理をしている。このうち人件費部分は、「人件費単価×正味作業時間」と表記することができるから、それぞれの基本価格部分、製作要素部分の製作費用を次のように表記することができる。

$$\begin{aligned} \text{価格} = & (\text{係数1}) \times \text{素材費} \\ & + (\text{係数2}) \times \text{人件費単価} \\ & \times (\text{正味作業時間}) \end{aligned}$$

・・・式1

付随費用（間接経費、事務経費、減価償却費などがこれに含まれる）については、係数1、2の1を越える部分がこれに相当する。

(c) の完成用部品についても、完成用部品自体の購入費用にその管理費用等の付随費用がともなうと考えられるので、

$$\begin{aligned} & (\text{係数3}) \times \text{完成用部品購入費} \\ & \dots \text{式2} \end{aligned}$$

として、この部分の費用を表記することができる。厚生労働省が現行制度の元とした[1]の研究では、係数1～3、人件費単価ならびに、各基本価格項目・製作要素項目毎の素材費、正味作業時間の想定値が示されており、厚生労働省も同様の想定値を持っていると考えられる。

今回の調査では、主に式1に示された、素材費と人件費の水準に注目した。調査事項については、表1の通りである。

表1. 主な調査項目

調査事項	該当費目	算出・抽出項目	調査対象
素材（99品目）の単価（2年前と今年度の2時点）	素材費	素材費単価の変化率	日本義肢協会、日本車いすシーティング協会の会員から立地地点・従業員規模が多様となるよう抽出した30社を対象
該当補装具の基本価格項目・製作要素項目ごとの所要正味作業時間	人件費	製作に要する正味作業時間	
人件費（賞与、法定福利費の事業所負担分を含む）	人件費	人件費単価（時間当たり人件費）	日本義肢協会、日本車いすシーティング協会の全会員402社を対象
労働時間	人件費	人件費単価（時間当たり人件費）	
収支（収益については、義肢、装具、座位保持装置ごとの売上を記載する形式）	—	事業所の対売上高利益率 義肢、装具、座位保持装置各区分毎の推定純利益率	※ただし、日本車いすシーティング協会会員の事業所には、該当補装具の取り扱いのない事業所が含まれる。
その他価格制度についての意見（自由記入形式）	—	制度についての意見等	

C. 結果

調査の回収締切は平成23年12月31日に設定したものの、締切後の調査票返送が相当数あった。平成24年2月1日時点の回収状況は、下記の通りである。

- 30社発送分：有効回答26
(有効回答ベースの回収率 86.7%)
- 402社発送分：回収数166
(回収率41.3%)

ただし回収数以外に3件、回答困難との連絡に添えて「対象補装具の取り扱い無し」との連絡があり、この分を発送数から除いた回収率は41.6%であった。

現時点での集計状況は下記の通りである。

- 1) 素材費について
日本義肢協会、日本車いすシーティング協会の会員から立地地点・従業員規模が多様となる

よう抽出した30社を対象に、99品目の素材について、前回調査[2]が行われた「平成21年9月～平成22年3月」ならびに「平成23年9月」の2つの時点について素材の購入価格の調査を行った。節末の表2に、調査結果をまとめる。表に記載されているのは、事業所毎の各素材の価格変化率についての調査事業所全体の平均値である。

これによれば、各素材の平均価格変化率は、+2.65%である。

2) 人件費について

2-1 正味作業時間

日本義肢協会、日本車いすシーティング協会の会員から立地地点・従業員規模が多様となるよう抽出した30社を対象に、義肢等の購入基準（製作）にかかる全基本価格項目、製作要素項目について、正味作業時間を尋ねた。回収数は26、補装具区分別の有効回答数は、殻構造義肢17、骨格構造義肢17、装具18、座位保持装置16であった。その結果を表3に示す。表には単純に調査結果より得られた各項目についての単純集計結果とともに、いくつかの想定に基づき、平成22年度における人件費単価を前提に有効回答平均通りに厚生労働省が想定作業時間改定をおこなった場合の想定作業時間ならびに想定付随費用込みの人件費（すなわち、「(係数2) × (人件費)」の値）の変化について纏めている。

（ケース1）調査結果得られた正味作業時間通りに想定作業時間の改定をおこなった場合。

（ケース2）現行の想定作業時間より調査結果の正味作業時間が長い場合、価格算定式中の人件費にかかる係数（式1でいう係数2）相当分の割引を行う場合¹。

¹ この想定の意味するところは、次の通りである。係数2の数値の1を越える部分は、人件費に付随する費用であると考えられる。何らかの事情により、付随費用を節減できたとすると、この係数を1として考えればよいことになる（ただ

（ケース3）ケース2と同様の想定に加え、現行の想定作業時間より調査結果の正味作業時間が短い場合、想定時間を変更しないものとする場合。

今回の調査では、制度想定に較べ著しく正味作業時間が長い、という結果となった。ケース1が示す、現行制度想定時間と調査結果の平均倍率（想定作業時間で重みづけをした加重平均）は1.5倍（骨格構造義肢）ないし2.7倍（座位保持装置）であった。

2-2 人件費単価

日本義肢協会、日本車いすシーティング協会の全会員402社を対象に調査を行った。当該設問の有効回答数は、154であった。推定の方法は、つぎの通りである。まず、雇用に要する人件費（通常支払われる給与、残業代、賞与、法定福利費の事業所負担分など）から雇用に要する年間人件費（a）を算出し、製造・営業にかかる従業員の月間労働時間数から年間労働時間（b）を算出する。最後に（a）を（b）で除することで、推定人件費単価を得ることができる。

表4に集計結果を纏める。法定福利費事業所負担分の記載のあった事業所の人件費単価の平均は、1,901円/時（表4の（1-b））であった。なお、法定福利費事業所負担分の記載のあった事業所数は当該設問の有効回答数の70%であった（表5）。

図1に人件費単価毎の事業所数の分布を示す。

し表3のケース2および3では、係数2を1に設定するのではなく、係数2相当の割引を作業時間に対し行っている）。

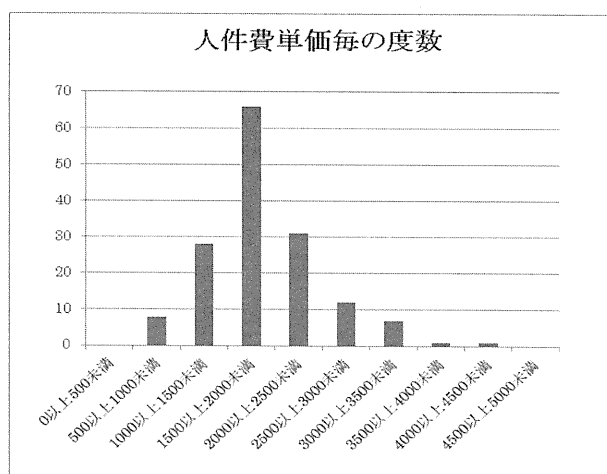


図1 人件費単価の分布

3) その他価格制度についての意見について

表6に現時点の集計を纏める。全体的に採算の厳しさについての意見が多かった。特に多かった事項としては、

- ・制度への追加、見直しについて
- ・移動コストについて（移動コストの加算など）であった。また、制度の運用面についての意見、市場価格制を導入すべきとう意見等も見られた。

4) その他価格制度についての意見について

現行制度は、義肢等の供給費用として補装具費の支給対象として認める費目を考慮した上で、原価計算をベースにした公定価格制度となっている。しかし、調査結果からは、

- ・移動コストなど現行制度で想定費用として十分考慮されていない費目が経営を圧迫している。
- ・素材価格等の上昇に、公定価格の調整が追いついていない。

など、制度の枠組み上の問題の指摘が見られる。

移動コストについては、供給される義肢等からはどれだけ当該コストを見込むべきなのか判断が付きかねる、といった面がある。また、移動コストの負担についても、現行の自立支援法

のルールに則ることが望ましいかについては検討の余地があると考えられる。

義肢等の安定供給のためには、公定価格制の維持・変更に関する検討を含めた議論が必要かと考えられる。

D. 考察

1) 素材費について

結果の項で示したように、調査結果より得られた前回調査時点からの素材の平均価格変化率は+2.65%である。

この背景としては原油価格の上昇などが考えられる。表7に示すように、2009年4月～12月と2011年の同時期の間の原油価格、物価指数などの指標の動きを見てみると、消費者物価指数こそ-0.2%と下落しているものの、各素材の価格に大きく影響すると思われる円建ての原油価格は+45.3%と大きく上昇しており、また国内企業物価指数も+2.6%と今回の調査結果と概ね同等の増加率を示している²。

2) 人件費について

2-1 正味作業時間

今回の調査結果では、制度想定に比べ、著しく長い正味作業時間が得られた。調査票の回答上正味作業時間に含むべき作業項目として、特に基本価格項目については基本工作法として示されている事項を挙げて調査を行った。しかし、今後この点についてより細かい吟味が必要と考えられる。

作業時間が長くなる要因としては、以下の事項が考えられる。

² 季節差の影響を吸収することも考慮し、本来年度間（4月～翌年3月）の比較を行いたいところであるが、現時点では2012年のデータを取れない。そこで2009年および2011年のそれぞれ4月～12月の価格指標の平均の比較を行っている。

- ・外装などの仕上がりへの利用者の要望水準が高まっている。
- ・以前に比べ、物が多様化・複雑化している。また座位保持装置利用者など障害が重度化してきている。その結果、製作作業や適合に時間がかかるようになってきているのではないかと。
- ・完成用部品の高性能化に伴い、仮合わせ時に調整する部分が増えている。
- ・完成用部品のタイプによっては、これを使用するのに製作作業が余計にかかることもありうる。
- ・最近製作することが少なくなっているもの（ソケット皮革、義足差込式など）について、調査結果と制度想定時間との乖離が大きい。
- ・制度では極めてシンプルなものを作る場合を想定し時間を算出したと思われるが、実際はいろいろなケースがある（義足用股吊帯など）。

一方、一部の項目では制度想定よりも正味作業時間が短くなっていた。特に基本価格項目のオプション項目のいくつかにおいて、そのような結果が得られている。しかし、基本価格項目の本体のほうを見てみると、こちらは正味作業時間が長くなっており、オプション項目と併せた作業全体としては必ずしも時間が縮んでいるとはいえない可能性がある。

2-2 人件費単価

2009年に行った前回調査[2]で得られた人件費単価（1,873円/時。表4）に比べ、単価は1.50%増加しているが、この要因としては平成22年度に向けた補装具費の価格改定（義肢等は値上げ）の影響に加え、法定福利費事業所負担分の料率の上方改定が背景にあると考えられる。

2009年から2011年にかけては、日本の産業全体、あるいは製造業全体においても法定福利費事業所負担分を含んだ人件費単価は上昇している。この期間、法定福利費事業所負担分を含ま

ない人件費単価は毎月勤労統計調査のデータによれば対象産業全体で-0.515%と低下、製造業では+0.666%と上昇した³。一方、健康保険、介護保険、厚生年金、雇用保険、労災保険を併せた法定福利費の事業所負担料率はこの間13.60%から14.85%に値上げされている⁴。従って、法定福利費事業所負担分を含む人件費単価の変化率は、産業全体で+0.58%、製造業で+1.77%となる⁵。今回の調査結果が示す義肢等製作事業所人件費単価の増加率は製造業全体に比べ高くない。

E. 結論

義肢等製作事業者を対象に、製作費用、収支などについての調査を行った。現時点の集計結果は、製作費用が増加していることを示唆している。

調査の結果推定された、素材価格ならびに人件費単価の上昇の幅は、それぞれ国内企業物価指数の動向、製造業全体の人件費単価と比較して概ね同程度と言える。一方、人件費にかかる正味作業時間の調査結果については、慎重な吟味と今後の更なる調査が必要と考えられる。

制度についての意見の調査結果からは、採算の厳しさが伺え、現行の価格設定の水準や移動コストの扱い等について意見が挙げられていた。

³ 毎月勤労統計調査 全国調査の長期時系列表に記載されている、就業形態別現金給与総額の指数（就業形態計・5人以上・年平均）を就業形態別総実労働時間の指数（同）で除したものを2009年および2011年について求め変化率を算出した。なお年度の区切れを考慮し各年4月～12月のデータを用いると、法定福利費事業所負担分込みの人件費単価の変化率は産業全体で+0.76%、製造業で+2.53%となる。変化率が若干大きくなるものの、数値の示す傾向自体は変わらない。

⁴ 介護保険料込みとし、また都道府県によって料率が異なる項目については東京都の数値を用いて求めた、概数である。

⁵ 産業全体の場合だと、 $(1-0.00515) \times (1+0.1485) \div (1+0.1360) - 1 \approx 0.0058$ 。

今後、収支ならび義肢・装具・座位保持装置の種目別の採算性に関する分析を進めるとともに、より包括的な製作費用の把握、ならびに中長期的な義肢等価格の設定および費用負担にかかる制度のあり方について検討していきたいと考える。

F. 引用文献

- 1) 飯田卯之吉ほか：「補装具の種目，構造，工作法などに関する体系的研究」，厚生省厚生科学研究（特別研究事業）昭和53年度特別研究報告書，（1979）.
- 2) 山崎伸也，我澤賢之：義肢・装具・座位保持装置の件費・素材費調査，「経済学的手法による補装具の価格構成に関する研究」平成21年度総括・分担研究報告書，p.5-21，（2010）.

表2. 素材単価の変化率

素材単価平均上昇率(単純平均)	2.654%
価格変化率は「平成21年9月～平成22年3月」時点から「平成23年9月」時点にかけてのもの。	

※有効回答数

19

素材名	価格変化率
1 情報カード	-9.39%
2 投影図用紙	7.42%
3 石膏(ギプス粉)(1袋25kg)	2.91%
4 プラスランE(1巻)	3.60%
5 ギプス包帯 2列(1巻)	8.72%
6 ギプス包帯 3列(1巻)	7.80%
7 アクリル樹脂硬性	7.85%
8 アクリル樹脂軟性	4.62%
9 アクリル樹脂(軟性・硬性)混合	0.65%
10 熱硬化性樹脂 硬性	10.13%
11 熱硬化性樹脂 軟性	4.64%
12 発泡樹脂	1.00%
13 ポリプロピレン 4mm	6.67%
14 コ・ポリマー 3mm	0.55%
15 サブ・オルソレン 3mm	4.56%
16 オルソレン 3mm	0.00%
17 トレラッククリア 3mm	-1.72%
18 PVA シート	0.00%
19 PVA 4"	0.00%
20 PVA 6"	-2.28%
21 PVA 8"	-2.58%
22 PVA 10"	-3.32%
23 PVA 12"	-2.85%
24 ナイロンストッキングネット 2"	2.59%
25 ナイロンストッキングネット 3"	2.33%
26 ナイロンストッキングネット 4"	2.33%
27 ナイロンストッキングネット 10"	1.67%

素材名	価格変化率
28 Vマット(1m幅)	0.66%
29 テトロンフェルト(1m幅)	0.23%
30 トレカクロス25mm	-0.83%
31 トレカクロス50mm	1.25%
32 カーボンストッキングネット 3インチ	8.85%
33 カーボンストッキングネット 4インチ	3.29%
34 カーボンストッキングネット 5インチ	2.10%
35 カーボンストッキングネット 6インチ	1.61%
36 カーボンストッキングネット 8インチ	1.75%
37 グラスファイバー	0.00%
38 クローム革	4.11%
39 なめし革	0.71%
40 スメ革	1.80%
41 茶利革	0.24%
42 合成皮革(クラリーノ) 2mm	3.09%
43 木ブロック	0.00%
44 桐材	0.95%
45 アンクルブロック(ホウ材)	1.30%
46 軽合金(ナマコポー) 16mm×1m	1.57%
47 半月材 厚さ2mm 幅13mm×1m	0.91%
48 PEライト5mm(1m角)	0.00%
49 黄スポンジ	17.99%
50 ゴム帯地(25mm幅)	0.00%
51 ダクロンテープ(25mm幅)	5.23%
52 ビニール管(義手・腋下部用)	1.98%
53 ベルト(バックル)	2.60%
54 丸環	6.32%
55 フェルト	3.51%

(つづき) 表2. 素材単価の変化率

素材名	価格変化率	素材名	価格変化率
101 ウレタンチップ #6000 10mm	6.25%	124 ラミネート 5mm厚	1.75%
102 ウレタンチップ #6000 20mm	6.25%	125 防水シート	0.00%
103 ウレタンチップ #6000 60mm	8.33%	126 バックル 25mm幅用	0.77%
104 ウレタンチップ #8000 10mm	8.33%	127 バックル 38mm幅用	1.03%
105 ウレタンチップ #8000 20mm	6.25%	128 バックル 50mm幅用	0.76%
106 ウレタンチップ #8000 60mm	8.33%	129 アジャスター 25mm幅用	0.00%
107 ウレタン 10mm厚	5.02%	130 アジャスター 38mm幅用	0.00%
108 低反発ウレタン 15mm厚	0.66%	131 アジャスター 50mm幅用	2.38%
109 ムマック 10mm厚	回答なし	132 Dカン 25mm幅用	0.00%
110 ムマック 15mm厚	0.00%	133 Dカン 38mm幅用	0.00%
111 合板 90cm x 180cm 9mm厚	5.00%	134 Dカン 50mm幅用	0.00%
112 ビニールレザー	3.58%	追1 インプレッションフォーム	8.04%
113 マジックベルト 25mm幅	2.06%	追2 フットプリント用紙	-7.29%
114 マジックベルト 38mm幅	1.29%	135 ステンレスパイプ	6.12%
115 マジックベルト 50mm幅	0.45%	136 アルミパイプ	3.10%
116 Wラッセル	-0.20%	137 鉄パイプ	7.08%
117 エアータッチ(シングル)	0.00%	138 木材	15.45%
118 エアータッチ(ダブル)	0.00%	139 塗料	0.73%
119 クラリーノ	3.00%	140 布	11.06%
120 フェルト	2.68%	141 糸	0.76%
121 ナイロンベルト 25mm幅	0.56%	142 ボルト	7.41%
122 ナイロンベルト 38mm幅	1.10%	143 ナット	5.56%
123 ナイロンベルト 50mm幅	0.00%		

厚生労働科学研究費補助金(障害者対策総合研究事業)
 総括・分担研究報告書

表3 購入基準各項目正味作業時間

(1) 殻構造義肢

●設備選装
 事業所における標準的な正味作業時間

(1)設備選装手-少基本価格

採装区分	型式	a) 22年度想定作業時間(時間)		b) 調査結果作業時間(時間)		c) 時間差(倍)	d) 倍率(%)
		前年	今年	前年	今年		
A-1	装着用	4.48	19.06	15.18	4.3882		
	作業用	4.48	14.11	9.63	3.1498		
A-2	装着用	6.70	20.47	14.27	3.2016		
	作業用	5.11	14.93	9.82	2.9276		
A-3	装着用	5.11	15.39	10.28	3.0115		
	作業用	6.07	17.81	11.74	2.9340		
A-4	装着用	4.61	14.78	10.17	3.2051		
	作業用	4.61	15.08	10.47	3.2704		
A-5	装着用	5.40	17.89	12.49	3.1226		
	作業用	4.63	14.10	9.47	3.0463		
A-6	装着用	4.93	14.60	10.17	3.1913		
	作業用	4.93	15.09	10.09	3.0458		
A-7	装着用	4.31	11.70	7.39	2.7146		
	作業用	4.31	13.28	8.37	3.0273		
追加作業	装着用	4.40	15.09	10.09	3.0458		
	作業用	1.61	7.41	5.80	4.0002		
足裏調整	装着用	0.97	2.98	4.01	3.0772		
	作業用	4.00	6.83	4.18	2.9973		
前足調整	装着用	1.00	2.27	-1.63	0.9917		
	作業用	2.00	1.63	-0.37	0.8141		
踵調整	装着用	3.00	2.99	-0.01	0.9954		
	作業用	0.97	2.98	4.01	3.0772		
ソールインサートのリソーン又は完成用前足のインサートを使用して仮合わせ専用チェックソケットを作成する際の追加作業時間	装着用	5.50	3.20	-2.30	0.5813		
	作業用	2.73					

(1)設備選装手-工製作業価格(ア)ソケット

名称	採装区分	使用材料	a) 22年度想定作業時間(時間)		b) 調査結果作業時間(時間)		c) 時間差(倍)	d) 倍率(%)
			前年	今年	前年	今年		
手義	A-1	アルミニウム	1.59					
		皮革	1.17	2.77	1.60	2.3682		
A-2	A-1	アルミニウム	2.74	2.93	0.21	1.0783		
		皮革	0.64	2.27	1.63	3.5482		
A-3	A-1	アルミニウム	1.68	2.60	0.92	1.4881		
		皮革	1.83	2.66	0.83	1.4511		
A-4	A-1	アルミニウム	0.93	2.02	1.09	2.1668		
		皮革	1.48					
A-5	A-1	アルミニウム	1.83	2.50	0.67	1.3661		
		皮革	1.83	2.66	0.83	1.4511		
A-6	A-1	アルミニウム	0.64	2.08	1.44	3.2552		
		皮革	1.88	2.35	0.47	1.3519		
A-7	A-1	アルミニウム	1.81	2.72	0.91	1.5021		
		皮革	0.64	2.02	1.38	3.1487		
A-8	A-1	アルミニウム	1.52	2.25	0.73	1.4763		
		皮革	1.71	2.52	0.81	1.4724		
A-9	A-1	アルミニウム	1.71	2.55	0.84	1.4924		
		皮革	2.05	2.05	1.10	2.1531		
A-10	A-1	アルミニウム	1.25	2.64	1.39	2.1111		
		皮革	1.25	2.28	1.03	1.8256		
A-11	A-1	アルミニウム	1.44	2.58	1.12	1.7747		
		皮革	0.93	2.02	1.07	2.1272		
A-12	A-1	アルミニウム	0.55	1.62	1.07	2.9437		
		皮革	0.48	1.60	1.12	3.2324		
A-13	A-1	アルミニウム	0.48	1.31	0.83	2.7282		
		皮革	1.3095	0.83	2.7282	5.369		

(1)設備選装手-工製作業価格(イ)ソフトインサート

採装区分	使用材料	a) 22年度想定作業時間(時間)		b) 調査結果作業時間(時間)		c) 時間差(倍)	d) 倍率(%)	
		前年	今年	前年	今年			
義手	A-1	皮革	0.48	1.56	1.09	3.2407		
		軟性発泡	0.64	1.40	0.76	2.1889		
A-2	A-1	皮革	0.95	2.00	1.05	2.1053		
		軟性発泡	0.48	1.40	0.92	2.9158		
A-3	A-1	皮革	0.64	1.14	0.50	1.7795		
		軟性発泡	0.97	1.97	1.00	2.0332		
A-4	A-1	皮革	0.48	1.39	0.90	2.8646		
		軟性発泡	0.64	1.14	0.50	1.7795		
A-5	A-1	皮革	0.97	1.96	0.99	2.0189		
		軟性発泡	0.48	1.19	0.71	2.4884		
A-6	A-1	皮革	0.64	1.08	0.42	1.4483		
		軟性発泡	0.97	2.09	1.12	2.1556		
A-7	A-1	皮革	0.48	1.48	1.00	3.0916		
		軟性発泡	0.64	1.08	0.44	1.6827		
A-8	A-1	皮革	0.97	2.02	1.05	2.0775		
		軟性発泡	0.64	1.08	0.44	1.6827		

(1)設備選装手-工製作業価格(ウ)支持部

採装区分	部位	a) 22年度想定作業時間(時間)		b) 調査結果作業時間(時間)		c) 時間差(倍)	d) 倍率(%)	
		前年	今年	前年	今年			
義手	装着用	前脚部	1.29	2.96	1.67	2.2959		
		後脚部	1.11					
A-1	装着用	前脚部	3.45	3.20	-0.25	0.9275		
		後脚部	1.40	2.44	1.11	1.7792		
A-2	装着用	前脚部	2.83	0.67	-2.16	0.2356		
		後脚部	1.11	3.20	2.09	2.8929		
A-3	装着用	前脚部	1.58	1.85	0.35	1.9449		
		後脚部	4.32	1.79	-2.53	0.4134		

(1)設備選装手-工製作業価格(エ)義手用ハーネス

区分	名称	使用材料	a) 22年度想定作業時間(時間)		b) 調査結果作業時間(時間)		c) 時間差(倍)	d) 倍率(%)
			前年	今年	前年	今年		
義手	肩義手	調整ベルト	2.89	1.85	-1.04	0.6388		
		肩パズ	1.45	2.03	0.58	1.4033		
A-1	肩義手	調整ベルト	2.85	1.88	-0.97	0.6590		
		肩パズ	1.45	1.69	0.24	1.1642		
A-2	肩義手	調整ベルト	1.27	1.27	0.00	1.0000		
		肩パズ	2.48	1.98	-0.51	0.7958		
A-3	肩義手	調整ベルト	0.70	1.42	0.72	2.0286		
		肩パズ	0.70	1.17	0.47	1.6752		
A-4	肩義手	調整ベルト	0.23	0.78	0.55	2.3903		
		肩パズ	0.23	1.15	0.92	3.0069		
A-5	肩義手	調整ベルト	0.74	1.00	0.26	1.3421		
		肩パズ	0.74	1.00	0.26	1.3421		

ケース1:
 調査結果よりそのまますべて変更を行う場合

基本価格のみ 全体	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)
2.8567	2.3713	1.8547	1.8547	1.8547	1.8547

ケース2:
 想定より時間が長い場合、人員係数分だけ伸び率の割引を行う。
 想定より時間が短い場合、調査結果選りの程度を削る。

基本価格のみ 全体	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)
1.1044	0.8451	1.0626	0.9388	1.0626	0.9388

ケース3:
 想定より時間が長い場合、人員係数分だけ伸び率の割引を行う。
 想定より時間が短い場合、想定作業時間を変更しない。

基本価格のみ 全体	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)	平均倍率(標準平均)
1.1044	1.0451	1.0626	0.9388	1.0626	0.9388

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
 総括・分担研究報告書

(つづき) 表3 購入基準各項目正味作業時間

(1) 殻構造義肢 (つづき)

(1) 殻構造義肢 工製作要素価格 (工) 義足懸垂用部品																		
区分	名称	使用材料																
義足	股懸足用	樹脂部	1.55	2.85	1.00	1.5428	2.8542	1.00	1.5428	6.590	1.85	0.00	1.0000	0	1.85	0.00	1.0000	0
	大腿懸足用	シリコンパッド	0.50	1.38	0.48	1.5278	1.3750	0.48	1.5278	3.075	0.90	0.00	1.0000	0	0.90	0.00	1.0000	0
		脛部部	0.78	1.31	0.53	1.6765	1.3077	0.53	1.6765	3.416	0.78	0.00	1.0000	0	0.78	0.00	1.0000	0
		踵パッド	1.20	1.42	0.22	1.1855	1.4226	0.22	1.1855	1.441	1.20	0.00	1.0000	0	1.20	0.00	1.0000	0
		踵高部	0.20	0.77	0.57	3.6806	0.2738	0.57	3.6806	3.714	0.26	0.06	1.2222	376	0.26	0.06	1.2222	376
		義足用股吊部	0.21	1.44	1.23	6.8376	1.4359	1.23	6.8376	7.935	0.48	0.27	2.2849	1.747	0.48	0.27	2.2849	1.747
	下腿懸足用	踵パッド	1.20	1.42	0.22	1.1855	1.4231	0.22	1.1855	1.444	1.20	0.00	1.0000	0	1.20	0.00	1.0000	0
		踵高部	0.24	0.86	0.62	3.5791	0.8560	0.62	3.5791	4.006	0.29	0.05	1.1960	304	0.29	0.05	1.1960	304
		大皿もみ替的	1.14	2.52	1.38	2.2125	2.5222	1.38	2.2125	6.947	1.14	0.00	1.0000	0	1.14	0.00	1.0000	0
		PTD接続	1.09	1.64	0.55	1.5087	1.6444	0.55	1.5087	3.589	1.09	0.00	1.0000	0	1.09	0.00	1.0000	0
(1) 殻構造義肢 工製作要素価格 (才) 外装																		
名称	外装部位	使用材料等																
義足用	股部	皮革	0.95	3.92	2.97	4.1228	3.9167	2.97	4.1228	19.200	1.31	0.36	1.3777	2.323	1.31	0.36	1.3777	2.323
		ワスワック	2.10	3.42	1.32	1.6270	3.4167	1.32	1.6270	6.522	2.10	0.00	1.0000	0	2.10	0.00	1.0000	0
	大腿部	皮革	0.31	1.50	1.19	4.8387	1.5000	1.19	4.8387	7.703	0.50	0.19	1.6169	1.238	0.50	0.19	1.6169	1.238
		ワスワック	0.93	2.74	1.81	3.2955	2.7561	1.81	3.2955	12.338	0.91	0.08	1.1015	546	0.91	0.08	1.1015	546
		皮革	2.10	3.08	0.98	1.4646	3.0758	0.98	1.4646	6.316	2.10	0.00	1.0000	0	2.10	0.00	1.0000	0
	下腿部	皮革	0.31	1.22	0.91	3.9427	1.2222	0.91	3.9427	5.905	0.41	0.10	1.3175	637	0.41	0.10	1.3175	637
		ワスワック	0.89	2.07	1.19	2.3495	2.0687	1.19	2.3495	7.681	0.88	0.00	1.0000	0	0.88	0.00	1.0000	0
		皮革	1.97	2.15	0.66	1.1376	2.1728	0.66	1.1376	3.669	1.97	0.00	1.0000	0	1.97	0.00	1.0000	0
	足部	皮革	0.31	1.35	1.04	4.3683	1.3542	1.04	4.3683	6.759	0.45	0.14	1.4597	923	0.45	0.14	1.4597	923
		ワスワック	0.67	1.41	0.74	2.1091	1.4111	0.74	2.1091	4.797	0.67	0.00	1.0000	0	0.67	0.00	1.0000	0
皮革		0.48	1.18	0.70	2.4537	1.1738	0.70	2.4537	4.517	0.48	0.00	1.0000	0	0.48	0.00	1.0000	0	
	ワスワック	0.48	1.00	0.52	2.6832	1.0000	0.52	2.6832	3.866	0.48	0.00	1.0000	0	0.48	0.00	1.0000	0	
	PTD接続	0.16	0.97	0.81	6.9764	0.9722	0.81	6.9764	5.257	0.32	0.16	2.0305	1.067	0.32	0.16	2.0305	1.067	

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
総括・分担研究報告書

(つづき) 表3 購入基準各項目正味作業時間
(2) 骨格構造義肢

●骨格構造義肢

事業所における標準的な正味作業時間

(2) 骨格構造義手 ウェブ基本格

項目区分	制式	a) 22年度 想定作業時間 (時間)	b) 調査結果 作業時間(時 間)	c) 時間差 (=b-a)	d) 倍率 (=b/a)
A-1	装飾用	4.48	15.61	11.13	3.4834
A-2	装飾用	5.11	14.29	9.18	2.7963
A-3	装飾用	4.64	14.57	9.93	3.1397
肩甲関節切断用の追加作業時間					
		0.97	2.89	1.92	2.9782
吸着式の追加作業時間					
		4.00	2.27	-1.73	0.5667
顎上支持式の追加作業時間					
		2.00	1.91	-0.09	0.9545
スリット式の追加作業時間					
		3.00	2.70	-0.30	0.9012
ソフトインサートのシリコン又は形成用部品のライナーを使用して密着性を確保する専用フェックソケットを作る場合の追加作業時間					
		5.90	3.21	-2.29	0.5833
フェックソケットの材料に透明プラスチックを使用した場合の追加作業時間					
			2.73		

(2) 骨格構造義手 工製作業素価格 (フェックソケット)

項目区分	使用材料	想定作業時間(時間)	時間差(時間)	倍率(倍)	人件費増減(係数積算済み)(円)
A-1	フェックソケット	1.59			
	皮革	1.17	3.43	2.26	2.9281
	熱硬化性	2.74	3.29	0.55	1.2025
	熱可塑性	0.64	2.72	2.08	4.2495
A-2	フェックソケット	1.43	3.00	1.57	2.0979
	皮革	1.68	2.55	0.87	1.5179
	熱硬化性	1.63	3.06	1.29	1.6697
	熱可塑性	0.93	2.09	1.16	2.2483
A-3	フェックソケット	1.26			
	皮革	1.68	2.89	1.21	1.7196
	熱硬化性	1.81	2.96	1.15	1.6344
	熱可塑性	0.64	2.39	1.75	3.7326

(2) 骨格構造義手 工製作業素価格 (ソフトインサート)

名称	項目区分	想定作業時間(時間)	時間差(時間)	倍率(倍)	人件費増減(係数積算済み)(円)
A-1	皮革	0.48	1.86	1.38	3.8715
	熱硬化性	0.64	1.58	0.94	2.4639
	熱可塑性	0.95	2.17	1.22	2.2807
A-2	皮革	0.48	1.62	1.14	3.3775
	熱硬化性	0.64	1.38	0.74	2.1528
	熱可塑性	0.97	2.05	1.08	2.1087
A-3	皮革	0.48	1.98	1.50	4.1171
	熱硬化性	0.64	1.47	0.83	2.3093
	熱可塑性	0.97	2.11	1.14	2.1764

(2) 骨格構造義手 工製作業素価格 (ウ) 支持部

名称	項目区分	想定作業時間(時間)	時間差(時間)	倍率(倍)	人件費増減(係数積算済み)(円)
肩義手用		2.07	2.51	0.44	1.2108
上肢義手用		1.65	2.03	0.38	1.2323
前腕義手用		1.63	1.78	0.15	1.0907
肩義手修正		0.88	1.64	0.76	1.8584

(2) 骨格構造義手 工製作業素価格 (エ) 義手用ハーネス

名称	項目区分	想定作業時間(時間)	時間差(時間)	倍率(倍)	人件費増減(係数積算済み)(円)
肩義手用	胸郭ベルト	2.89	1.79	-1.10	0.6179
	肩袂	1.45	1.96	0.51	1.3506
上肢義手用	胸郭ベルト	2.85	1.96	-0.89	0.6892
	肩袂	1.45	1.93	0.48	1.3300
前腕義手用	B字ハーネス	1.27	1.42	0.15	1.1155
	胸郭ベルト	2.49	2.19	-0.30	0.8795
	B字ハーネス	1.05	1.08	0.03	1.2991
	B字ハーネス	0.70	1.64	0.94	2.3363
	上腕部	0.74	1.87	1.13	2.5275

(2) 骨格構造義手 工製作業素価格 (オ) 外装

名称	項目区分	想定作業時間(時間)	時間差(時間)	倍率(倍)	人件費増減(係数積算済み)(円)
肩義手用		1.64	2.91	1.27	1.7745
上肢義手用		1.30	2.37	1.07	1.8205
前腕義手用		1.16	1.48	0.32	1.2771

ケース1:
調査結果通りそのままだと想定作業時間を行う場合

	平均倍率(単 純平均)	平均倍率(想 定作業時間で 算み付)
基本価格のみ	1.8837	1.599
全体	2.0481	1.614

想定作業時間(時間)	時間差(時間)	倍率(倍)	人件費増減(係数積算済み)(円)
15.6056	11.13	3.4834	72.010
14.2889	9.18	2.7963	59.413
14.5682	9.93	3.1397	64.263
2.8889	1.92	2.9782	12.421
2.2667	-1.73	0.5667	-11.210
1.9091	-0.09	0.9545	-582
2.7037	-0.30	0.9012	-1.913
3.2083	-2.29	0.5833	-14.833
2.7282			

ケース2:
想定より時間が長い場合、人件費係数だけ伸び率の割引きを行う。

	平均倍率(単 純平均)	平均倍率(想 定作業時間で 算み付)
基本価格のみ	1.0061	0.9916
全体	1.0337	0.9489

想定作業時間(時間)	時間差(時間)	倍率(倍)	人件費増減(係数積算済み)(円)
5.21	0.73	1.1640	4.757
5.11	0.00	1.0000	0
4.87	0.23	1.0492	1.477
0.97	0.00	1.0000	0
2.27	-1.73	0.5667	-11.210
1.91	-0.09	0.9545	-582
2.70	-0.30	0.9012	-1.913
3.21	-2.29	0.5833	-14.833

ケース3:
想定より時間が長い場合、人件費係数だけ伸び率の割引きを行う。

	平均倍率(単 純平均)	平均倍率(想 定作業時間で 算み付)
基本価格のみ	1.0133	1.0063
全体	1.0720	1.0143

想定作業時間(時間)	時間差(時間)	倍率(倍)	人件費増減(係数積算済み)(円)
5.21	0.73	1.1640	4.757
5.11	0.00	1.0000	0
4.87	0.23	1.0492	1.477
0.97	0.00	1.0000	0
4.00	0.00	1.0000	0
2.00	0.00	1.0000	0
3.00	0.00	1.0000	0
5.50	0.00	1.0000	0

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
 総括・分担研究報告書

(つづき) 表3 購入基準各項目正味作業時間

(3) 装具 (つづき)

靴型装具																					
(3) 装具 B靴型装具 ㉜基本価格(採寸)																					
名称	種類区分																				
靴型装具	B-1		2.65	18.71	16.09	7.0608		18.7111	16.06	7.0609	74.519		7.63	4.98	2.8608	23.125		7.63	4.98	2.8608	23.125
	B-2		2.12	17.50	15.38	8.2547		17.5000	15.38	8.2547	71.350		7.14	5.02	3.3679	23.281		7.14	5.02	3.3679	23.291
(3) 装具 B靴型装具 ㉜基本価格(採寸)																					
名称	種類区分																				
靴型装具	B-1		1.47	14.93	13.46	10.1930		14.9278	13.46	10.1930	62.441		6.09	4.62	4.1432	21.438		6.09	4.62	4.1432	21.438
	B-2		1.26	14.03	12.79	11.1658		14.0500	12.79	11.1658	59.342		5.73	4.47	4.5495	20.751		5.73	4.47	4.5495	20.751
(3) 装具 A下駄装具 ㉜製作要素価格 (イ)靴型装具 ㉜製作要素 (b)設定																					
名称	種類																				
短靴	製靴靴		5.62	9.63	4.31	1.7668		9.9285	4.31	1.7668	19.995		5.62	0.00	1.0000	0		5.62	0.00	1.0000	0
	特種靴		7.16	12.55	5.39	1.7530		12.5513	5.39	1.7530	25.014		7.16	0.00	1.0000	0		7.16	0.00	1.0000	0
フック靴	製靴靴		5.78	10.39	4.60	1.7947		10.3910	4.60	1.7947	21.348		5.78	0.00	1.0000	0		5.78	0.00	1.0000	0
	特種靴		7.44	13.16	5.66	1.7611		13.1026	5.66	1.7611	26.273		7.44	0.00	1.0000	0		7.44	0.00	1.0000	0
半長靴	製靴靴		5.94	11.11	5.17	1.8702		11.1090	5.17	1.8702	23.993		5.94	0.00	1.0000	0		5.94	0.00	1.0000	0
	特種靴		7.70	14.17	6.47	1.8398		14.1667	6.47	1.8398	30.004		7.70	0.00	1.0000	0		7.70	0.00	1.0000	0
長靴	製靴靴		6.20	10.47	4.27	1.6991		10.4752	4.27	1.6991	19.929		6.20	0.00	1.0000	0		6.20	0.00	1.0000	0
	特種靴		8.34	12.80	4.66	1.5471		12.9028	4.66	1.5471	21.176		8.34	0.00	1.0000	0		8.34	0.00	1.0000	0
(3) 装具 A下駄装具 ㉜製作要素価格 (イ)靴型装具 ㉜製作要素 (b)設定																					
名称	種類																				
短靴			3.06	9.06	6.00	2.8600		9.0577	6.00	2.8600	27.823		3.70	0.64	1.2077	2.949		3.70	0.64	1.2077	2.949
フック靴			3.16	9.56	6.38	3.0056		9.5577	6.38	3.0056	29.591		3.90	0.72	1.2263	3.338		3.90	0.72	1.2263	3.338
半長靴			3.28	10.26	6.96	3.1155		10.2500	6.96	3.1155	32.293		4.18	0.89	1.2711	4.138		4.18	0.89	1.2711	4.138
長靴			3.47	9.87	6.35	2.8299		9.8194	6.35	2.8299	29.460		4.01	0.84	1.1546	2.489		4.01	0.84	1.1546	2.489
(3) 装具 A下駄装具 ㉜製作要素価格 (イ)靴型装具 ㉜製品等の加算要素																					
名称	種類																				
月型の延長			0.44	0.62	0.38	1.8624		0.8194	0.38	1.8624	1.761		0.44	0.00	1.0000	0		0.44	0.00	1.0000	0
スエーデン入り			0.49	0.84	0.35	1.7149		0.8403	0.35	1.7149	1.624		0.49	0.00	1.0000	0		0.49	0.00	1.0000	0
ワタツツの挿入			0.39	0.88	0.49	2.2892		0.8849	0.49	2.2892	2.295		0.39	0.00	1.0000	0		0.39	0.00	1.0000	0
銅板の挿入			0.17	1.20	1.03	7.0588		1.2000	1.03	7.0588	4.779		0.49	0.32	2.8900	1.463		0.49	0.32	2.8900	1.463
足背パッド			0.27	0.76	0.48	2.7776		0.7500	0.48	2.7776	2.227		0.31	0.04	1.1333	1.67		0.31	0.04	1.1333	1.67
ソックスパッド			0.25	0.81	0.26	2.0278		0.5069	0.26	2.0278	1.192		0.25	0.00	1.0000	0		0.25	0.00	1.0000	0
補高	敷設形式		1.10	1.43	0.33	1.2987		1.4286	0.33	1.2987	1.524		1.10	0.00	1.0000	0		1.10	0.00	1.0000	0
	別の挿入		0.72	1.38	0.44	1.9708		1.1310	0.44	1.9708	1.905		0.72	0.00	1.0000	0		0.72	0.00	1.0000	0
ヒールの補正	別の挿入		1.17	1.17	1.00	6.6927		1.1667	1.00	6.6927	4.624		0.49	0.31	2.8900	1.426		0.49	0.31	2.8900	1.426
	その他のパッド		0.72	0.92	0.20	1.2814		0.9226	0.20	1.2814	940		0.72	0.00	1.0000	0		0.72	0.00	1.0000	0
足底の補正	ソックスパッド		0.94	1.09	0.15	1.1588		1.0993	0.15	1.1588	693		0.94	0.00	1.0000	0		0.94	0.00	1.0000	0
	その他		0.72	0.86	0.14	1.1921		0.8583	0.14	1.1921	642		0.72	0.00	1.0000	0		0.72	0.00	1.0000	0
挿高2cm当たり			0.33	0.71	0.38	2.1380		0.7058	0.38	2.1380	1.742		0.33	0.00	1.0000	0		0.33	0.00	1.0000	0
挿高2cm当たり			0.22	0.63	0.41	2.8409		0.6250	0.41	2.8409	1.879		0.25	0.03	1.1591	1.62		0.25	0.03	1.1591	1.62

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
総括・分担研究報告書

(つづき) 表3 購入基準各項目正味作業時間
(3) 装具 (つづき)

(3) 装具 C体幹器具 C基本価格(保型)					
名称	詳細区分				
体幹器具					
C-1		3.75	16.23	12.48	4.3278
C-2		3.31	12.91	9.60	3.8927
C-3 金属枠		3.93	10.76	7.75	3.5951
C-3 樹脂		3.03	9.90	6.87	3.2866
C-3 軟性		1.47	7.13	5.66	4.8519
C-4 金属枠		2.85	10.33	8.07	4.0234
C-4 樹脂		2.66	10.41	7.75	3.9142
C-4 軟性		1.45	6.68	5.23	4.6056
C-5 金属枠		2.62	9.92	7.30	3.7850
C-5 樹脂		2.22	9.38	6.76	3.5281
C-5 軟性		1.40	6.42	5.02	4.5833
C-5 背保護		1.40	7.49	6.09	5.3467

(3) 装具 C体幹器具 C基本価格(保付)					
名称	詳細区分				
体幹器具					
C-1		1.70	12.26	10.56	7.2128
C-2		1.57	8.66	7.09	5.5152
C-3 金属枠		1.47	8.80	7.33	5.8888
C-3 樹脂		1.47	7.08	5.61	4.1766
C-3 軟性		1.47	5.76	3.79	3.5764
C-4 金属枠		1.44	8.65	7.21	6.0069
C-4 樹脂		1.44	6.20	4.76	4.3071
C-4 軟性		1.44	4.89	3.45	3.2951
C-5 金属枠		1.40	7.97	6.57	5.6844
C-5 樹脂		1.40	6.46	5.06	4.6111
C-5 軟性		1.40	4.87	3.47	3.4762

(3) 装具 C体幹器具 C製作要素価格 (ウ)体幹器具 a支持部					
名称	種類				
頸椎支持部	シート* 支持つき	5.35	6.08	0.73	1.1371
	シート* 支持なし	3.42	3.49	-0.33	0.3121
	フォーム	4.02	4.40	0.38	1.0851
	防* あご受けあり	1.82	2.05	0.24	1.1332
	あご受けなし	1.69	1.89	0.30	1.1752
胸椎支持部	シート* 支持つき	4.80	5.38	0.58	1.1209
	シート* 支持なし	3.16	3.33	0.83	1.2668
	フォーム	6.14	5.91	-0.23	0.9827
	軟性	3.14	2.73	-0.41	0.8680
腰椎支持部	シート* 支持つき	3.37	5.03	1.66	1.4914
	シート* 支持なし	2.33	3.86	1.53	1.6388
	フォーム	5.38	5.66	0.40	1.0281
	軟性	2.45	2.64	0.19	1.0784
仙腸支持部	シート* 支持つき	2.90	4.64	1.74	1.6010
	支持なし	2.01	3.59	1.58	1.7855
	フォーム	5.98	5.34	-0.29	1.0583
	軟性	2.38	2.47	0.09	1.0381
	背保護 芯あり	2.07	2.83	0.76	1.3688
	芯なし	1.14	2.13	0.99	1.8668
骨盤支持部	皮革	5.91	4.15	-1.76	0.7029
	シート* ヘルシロクサー	4.42	4.09	-0.33	0.9251
脚板ヘルドサンドパンチ		3.92	2.56	-1.26	0.6700
腰板ヘルドサンドパンチ		3.10	2.81	-0.29	0.8063
膝板ヘルドサンドパンチ		2.33	2.60	0.27	1.1138
踵板ヘルドサンドパンチ		2.01	2.41	0.40	1.1891
踵裏ヘルドサンドパンチ		4.42	2.21	-2.21	0.4989

(3) 装具 C体幹器具 C製作要素価格 (ウ)体幹器具 bその他加算要素					
名称	種類				
体幹器具					
	蒸気加熱	0.74	1.93	1.19	2.6042
	バンパースタイル式	1.16	2.01	0.85	1.7361
	調整機手	1.27	1.91	0.64	1.5048
	バックタイ	1.55	1.77	0.22	1.1437
	肩バンド	0.40	1.07	0.67	2.6838
	芯材なし	0.30	1.20	0.90	4.0104
	脱圧強化ハビ*	0.40	1.22	0.82	3.0556
側腹矯正器具	胸椎バンド	0.82	1.29	0.47	1.5782
	腰椎バンド	0.68	1.24	0.56	1.8168
	シフトバンド	2.58	1.91	-0.67	0.1407
	調整バンド	0.67	1.64	0.97	2.4409
	アロン	0.46	1.20	0.74	2.6087
	前方支柱	1.30	1.21	-0.09	0.9316
	後方支柱	1.30	1.64	0.34	1.2650
	前方支柱	0.82	1.33	0.51	1.6260
	バックタイ	0.48	1.41	0.93	3.0556
	調整バンド	2.50	2.18	-0.32	0.8711
	踵板支柱部	0.47	0.85	0.48	2.0234
	調整支柱部	0.52	1.05	0.54	2.9289
	踵板支柱部	0.49	0.94	0.45	1.9274
	調整支柱部	0.35	0.88	0.53	2.5000

厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）
 総括・分担研究報告書

(つづき) 表3 購入基準各項目正味作業時間

(4) 座位保持装置 (つづき)

(4) 座位保持装置 エ 製作要素価格 (※) 調整機構																			
名	種	類																	
高さ調節	頭部		0.56	0.96	0.40	1.7113	1.552			0.56	0.00	1.0000	0	0.56	0.00	1.0000	0		
	体幹部		0.56	1.13	0.57	2.0213	2.228			0.56	0.00	1.0000	0	0.56	0.00	1.0000	0		
	費部・大腿部		0.56	1.24	0.68	2.2073	2.635			0.56	0.00	1.0000	0	0.56	0.00	1.0000	0		
	足部支持部		0.35	1.25	0.90	3.5714	3.507			0.51	0.16	1.4571	674	0.51	0.16	1.4571	674		
前後調節	フェルムスト		0.35	1.33	0.68	3.8095	3.832			0.54	0.19	1.5543	756	0.54	0.19	1.5543	756		
	頭部		0.50	1.10	0.60	2.1944	2.327			0.50	0.00	1.0000	0	0.50	0.00	1.0000	0		
	費部・大腿部		0.50	1.19	0.69	2.3889	2.706			0.50	0.00	1.0000	0	0.50	0.00	1.0000	0		
	足部支持部		0.30	0.89	0.69	3.2870	2.674			0.40	0.10	1.3411	398	0.40	0.10	1.3411	398		
角度調節	頭部支持部		0.59	1.18	0.59	2.0009	2.301			0.59	0.00	1.0000	0	0.59	0.00	1.0000	0		
	フェルム		1.01	1.96	0.95	1.9389	3.696			1.01	0.00	1.0000	0	1.01	0.00	1.0000	0		
	体幹部		0.39	1.87	1.46	4.7899	5.260			0.76	0.37	1.9543	1,450	0.76	0.37	1.9543	1,450		
	費部・大腿部		0.39	1.78	1.39	4.6262	5.455			0.73	0.34	1.8971	1,318	0.73	0.34	1.8971	1,318		
座着機構	腰バック		0.39	1.60	1.41	4.6187	5.500			0.73	0.34	1.8944	1,344	0.73	0.34	1.8944	1,344		
	フェルムスト		0.39	1.74	1.35	4.4543	5.250			0.71	0.32	1.8173	1,242	0.71	0.32	1.8173	1,242		
	内転防止バック		1.10	2.03	0.93	1.8473	2.692			1.10	0.00	1.0000	0	1.10	0.00	1.0000	0		
	フェルムスト		0.39	1.65	1.56	5.0117	6.097			0.80	0.41	2.0447	1,588	0.80	0.41	2.0447	1,588		
開閉機構	足部支持部		0.39	1.91	1.52	4.8951	5.920			0.78	0.39	1.9972	1,516	0.78	0.39	1.9972	1,516		

表4 人件費単価集計結果

	該当事業所数	平均人件費単価	21年度調査との差率	最小値	最大値	標準偏差
1 取り扱い補装具種目区別なし						
1-a 有効回答全体	152	1,863	-0.54%	814	3,926	575
1-b 法定福利費の記載のある事業所のみ	123	1,901	1.50%	814	3,926	578
1-c 1-bに該当する事業所のうち、健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険の凡てに加入する事業所のみ	101	1,903	1.63%	814	3,926	590
2（参考）義肢取り扱いのある事業所のみ						
1-a 有効回答全体	99	1,956	—	921	3,926	572
1-b 法定福利費の記載のある事業所のみ	78	2,002	—	1,040	3,926	569
1-c 1-bに該当する事業所のうち、健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険の凡てに加入する事業所のみ	77	2,010	—	1,040	3,926	569
3（参考）義肢取り扱いのない事業所のみ						
1-a 有効回答全体	53	1,689	—	814	3,028	544
1-b 法定福利費の記載のある事業所のみ	45	1,726	—	814	3,028	557
1-c 1-bに該当する事業所のうち、健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険の凡てに加入する事業所のみ	24	1,562	—	814	2,686	530
※参考 平成21年度調査結果(1の1-b相当)		1,873	—			
毎月勤労統計調査全国調査対象産業平均(2010年度)		2,172	—			
毎月勤労統計調査全国調査製造業(2010年度)		2,254	—			

有効回答のうち、算出した各事業所の事業所内平均人件費単価のうち、最小値と最大値を除いたものを対象とし、全体の平均を算出している。

表5 有効回答事業者について

(事業所内平均人件費単価が最大値、最小値の事業所を含む)

	法定福利費			取扱補装具種目		
	a) 法定福利費記載	b) 健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険の凡てに加入と回答	c) a,b両方該当	d) 義肢	e) 装具	f) 座位保持装置
該当数	108	119	102	100	100	68
比率(有効回答134社中)	70%	77%	66%	65%	65%	44%

表6 その他価格制度についての意見について（1月18日回収分まで）

【既製品の扱い】	2件
<p>●早期治療に必要な、治療用装具の規格品、既製品化を進めるための価格制度を望む 治療は約束であり根拠はEBMである、オーダーメイド装具は製作者による制作方法で強度・材料、重量、仕上仕様、耐久性等が異なり、効果・品質の約束ができない。また、財源の問題もあり、コストダウンにはなる。</p>	
<p>●治療用装具として既製品を利用する割合が増加しています。現在の価格体系では既製品使用に際して数々の問題が生じています。医療費の抑制につながる既製品の使用はむしろ歓迎されるべきであり、既製品に対する抜本的な価格の見直しが必要と考えます。 「出張費を含めたPOの装着指導料及び調整料+既製品の価格」といった価格体系も一つの方法ではないかと考えます。</p>	
【リサイクル・レンタルの取り入れ】	4件
<p>●小児は、訓練用機器から座位保持装置、車椅子など多くの用具を必要とします。その為、一人の子供に関わる交付金額が上がり、必要な用具をすべて交付してもらえない地域も出てきています。しかしながら、小児の場合、成長など身体変化が大きく、すぐに別のサイズを必要としたりします。また訓練用具などに関しては成長と共に必要なくなってくるものも多くあります。そのような点から考え、座位保持装置のベースや歩行器、立位保持具などはレンタル制度での交付にしたほうが効率的に必要な子供に用具がいきわたるのではないかと考えます。</p>	
<p>●製造についても、せっかく技術のある国なのに、海外に売ってゆけるようなものがないのは残念に思います。特に電動車いすの場合日本のユーザーだけでは、安く良いものは難しいのではないかと考える。日本の産業として日本で売らなくても生産輸出できるような元気を取り戻せる要素は本来あるのではないかと考えます。またアメリカのように使い捨て文化に福祉用具をして良いのかという疑問もある。私はレンタルを基本にすることが可能性があるのではないと思うが、もし使い捨てなら、資源のリサイクルシステムも一緒に考える必要があるのではないかと。</p>	
<p>●譲渡品（車いす、座位保持装置、カーシートなど）市販品（バギー<車イス用途>、カーシート）などを処方により改造する場合に、制度申請できず自費払いとなるケースが多い。リユース、リサイクルの時代に制度が追い付いていない「修理」申請として取り扱ってほしい。</p>	
<p>●座位保持装置に関しては全体的に単価が安すぎます。・完成用部品の価格が既製品にも関わらずオーダーで作ったものより高いのは矛盾しています。</p>	
【制度（完成用部品）】	5件
<p>●義肢パーツや座位保持装置や車椅子は、我々が購入する段階の仕入れ値が高額で、中には赤字になるものもあります。この点につきましてもご考慮いただきたく存じます。</p>	
<p>●近年の世界的な不況による利用者の買い控えで売上が上がらず、さらに原材料が高騰しております。一人一人の人件費を削るには限界があり、退職者が出て新規採用を控えて、なんとか経営している状況です。新しい製品の開発販売（新規申請）が出来ること、完成用部品に含まれる古い価格のままで利益率の悪い製品の価格改訂（値上げ）申請が出来ることを切に望む次第であります。</p>	